

草津市健幸都市宣言および草津市健幸都市基本計画の策定について

本市では、平成28年8月に「草津市健幸都市宣言」を行い、だれもが生きがいをもち健やかで幸せに暮らせる健幸都市づくりを推進するため平成29年3月に、「草津市健幸都市基本計画」を策定いたしました。

草津市健幸都市宣言

生涯にわたって心も体も健やかで幸せに過ごせること
これはわたしたち共通の願いです
心身の健康には 自分の状態を知ること 適度な運動と休養
バランスのとれた食事など 一人ひとりの取組が大切です
美しい自然や 住みやすい都市環境も大切です
そして ともに住む人と人との絆や協働も大切です
くさつは いにしえから 東海道と中山道がまじわる交通の要衝
宿場町として栄えてきました
人と人が出会い 心と体を休め 旅の疲れを癒してきました
琵琶湖・田園などの豊かな自然環境もあり
そこから得られる 恵みも豊富です
今を生きるわたしたちも この地で 出会いと自然に感謝しながら
住み続け 訪れることで 健幸になれるまちを
ともに創造していきましょう
草津市は 生涯にわたって 一人ひとりが自らの健康を大切にし
ともに支え合い ここに暮らすことによって
絆や喜びが生まれ 幸せが感じられる
笑顔あふれるまちを目指して
ここに「健幸都市くさつ」を宣言します。

草津市健幸都市基本計画

- 「第5次草津市総合計画」を上位計画とし、市の様々な関連計画を健幸の側面から捉え、健幸都市実現のための取組を連携・強化していく計画です。
- 「まち」「ひと」「しごと」を切り口に、健幸づくりの取組を定めています。



健幸都市宣言への賛同事業所および健幸宣言事業所 全83か所(平成29年6月1日時点)

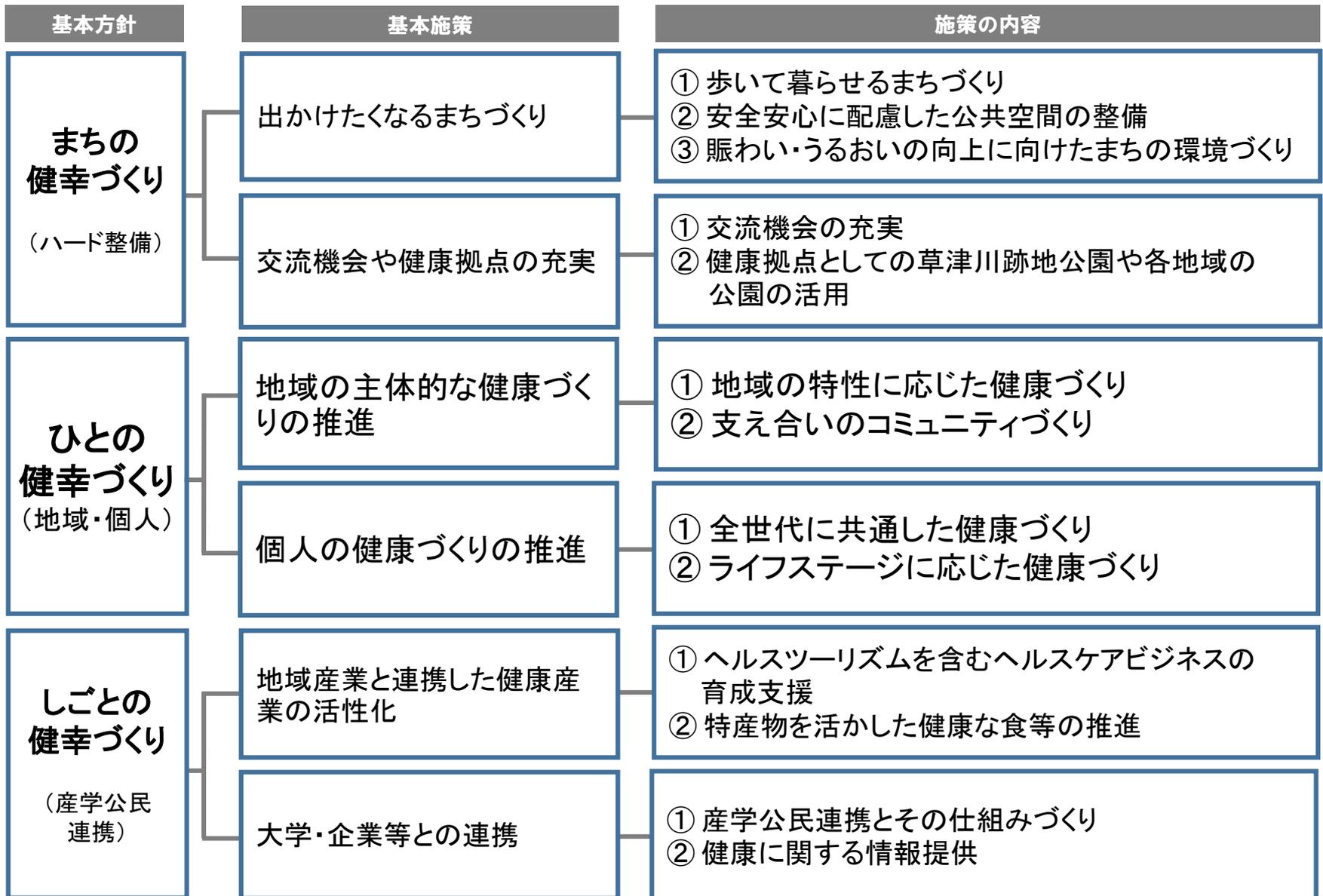
◆まちづくり協議会の健幸宣言◆ 市内全14学区のまちづくり協議会

◆健幸宣言事業所◆ 20事業所(五十音順)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)伊藤工務店、(株)井上工業、MOA草津健康生活ネットワーク、大阪ガス(株)滋賀事業所、キンキダンボール(株)、草津市農業協同組合、草津市役所、草津商工会議所、草津電機(株)、一般社団法人草津栗東守山野洲歯科医師会、(株)滋賀銀行草津市内各店、ダイキン工業(株)、(株)日本旅行草津支店、(株)PerfectTrainers、パナソニック(株)アプライアンス社、一般社団法人びわこ薬剤師会、(株)平和堂アル・プラザ草津、立命館大学びわこくさつキャンパス、(有)竜王興産

◆健幸都市宣言賛同事業所◆ 49事業所

健幸都市基本計画の体系



草津市健幸都市基本計画 基本方針

①まちの健幸づくり

②ひとの健幸づくり

③しごとの健幸づくり



まちの健幸づくり

出かけたくなるまちづくり

① 歩いて暮らせるまちづくり

- 都市機能や交通網を整えて、コンパクトシティ・プラス・ネットワークを形成し、歩いて暮らせるまちづくりを目指します。

② 安全・安心に配慮した公共空間の整備

- 安全安心に配慮した公共空間の整備を進めるため、バリアフリー化やたばこ対策、安全な自転車道の整備等を進めます。

③ 賑わい・うるおいの向上に向けたまちの環境づくり

- 中心市街地の賑わいを取り戻し、まちなかの交流人口の増加を図ります。
- まちの緑化を進め、緑あふれるまちづくりを目指します。
- 郊外部において、地域の産業・資源を活かした取組を進めることを検討します。

従来からの健康施策の枠組みを超え、ハード面からも健康づくりに取り組みます。

交流機会や健康拠点の充実

① 交流機会の充実

- 様々なイベントを開催するなど、出かける機会や交流機会の増加を図ります。
- 空き家を利用した多世代交流や地域交流拠点の創出を図ります。

② 健康拠点としての草津川跡地公園や各地域の公園の活用

- 子どもから高齢者まで、誰もがいつでも気軽に訪れ、健康づくりを行うことができる拠点として、草津川跡地公園や各地域の公園の活用を進めます。



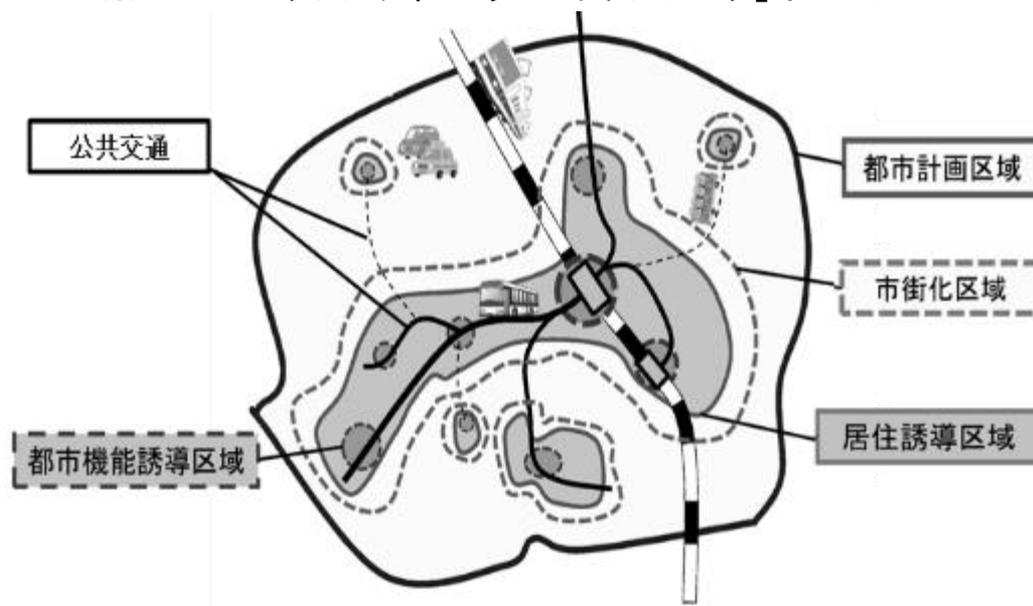
《まちの健幸づくり》重点的な取組のうち今年度行う主な事業①

コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりに向けた計画の策定

全国では、高齢化・人口減少が進む中で、地域活力の維持や医療・福祉・商業等の生活機能の確保を行うとともに、みんなが安心して暮らせるよう、公共交通と連携してコンパクトなまちづくりを進める「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」が進められています。

本市においても、日常生活が充足できる居住環境や、都市機能を確保できるよう、将来を見据えた都市機能をマネジメントします。

※ 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」イメージ



【以下の3つの計画を連携し策定します。】

- 都市機能や居住の誘導を目的とした『立地適正化計画』
- 将来を見据えた持続可能な公共交通ネットワークの構築を目的とした『地域公共交通網形成計画』
- 中心部と地域を結ぶ公共交通ネットワークの充実や、地域資源を活かした地域産業の振興等による持続可能なまちづくりの実現を目的とした『草津市版地域再生計画』

《まちの健幸づくり》重点的な取組のうち今年度行う主な事業②

ガーデンシティくさつの推進

<第2次緑の基本計画の見直し>

都市緑地法に基づく緑地の適正な保全および緑化の推進に関する基本計画として、平成32年度までを計画期間とする「第2次草津市緑の基本計画」を策定しています。

平成29年度は、「第5次草津市総合計画第3期基本計画」等に位置づけられたガーデンシティの推進について、その実現に向けた具体的な施策展開を「第2次草津市緑の基本計画」に位置づけることを検討します。

- ガーデンシティの実現に向けた諸条件の整理
- 「草津市緑の基本計画策定委員会」の設置、委員会開催(年4回)
- ガーデンシティの実現に向けた課題整理、具体的施策の検討

<JR草津駅・南草津駅での取組(月1回)>

市民ボランティア団体であるガーデニングサークルの活動を支援し、JR草津駅、南草津駅前の公共空間のガーデニングに向けた取組を推進します。

- 草津駅前東口デッキのガーデニング活動
- 南草津駅東山道記念公園のガーデニング活動

<草津川跡地公園での取組>

ガーデニングサークルや湖南農業高校等と共に、草津川跡地公園におけるガーデニングの取組を推進します。

- de愛ひろば(草津川跡地公園区間5)のガーデニング活動



《まちの健幸づくり》重点的な取組のうち今年度行う主な事業③

草津川跡地公園でのウォーキング等を中心とした健康イベントの実施

<イベント概要>

草津川跡地公園が身近な健幸拠点となるよう、草津まちづくり株式会社が行う賑わいイベントやくさつ健幸ウォーク2017と連携し、市民が参加しやすい健康づくりのきっかけとなるイベントを行います。

<企画案>

【1】わくわくサマーランド 7月22日(土) 10:00~15:00

《子ども向けイベント》

キックターゲット&ストラックアウト・サーキットあそび(ボールあそび・鉄棒・マットなどをサーキット形式で一周。その中で、プロの指導員が子どもに合わせたワンポイント指導)

《大人向けイベント》

パパもママも元気に！青空ストレッチ(肩こり予防・体全身のリフレッシュ等トレーナーが前でストレッチ方法を指導し、必要に応じてサポート)

【2】(仮称)健幸フェア 9月23日(土) 10:00~16:00(予定)

- ・健康増進及び予防に繋がるデモンストレーション・ワークショップの開催
- ・地元の医療健康関連企業やスポーツ関連企業とのタイアップイベントの開催
- ・ノルディックウォークやお庭ヨガなど

【3】くさつ健幸ウォーク2017 10月29日(日) 10:00~16:00(予定)

くさつ健幸ウォーク2017と連携した健幸イベントの実施(予定)



草津市健幸都市基本計画 基本方針

①まちの健幸づくり

②ひとの健幸づくり

③しごとの健幸づくり



ひとの健幸づくり

地域と個人の視点から、健康づくりに取り組みます。

地域の主体的な健康づくりの推進

① 地域の特性に応じた健康づくり

- まちづくり協議会の健幸宣言の実現に向け、各まちづくり協議会と市が協働して、地域の実情に応じた健康づくりの取組を進めます。

② 支え合いのコミュニティづくり

- 誰もが住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らすことができる「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。
- 地域の資源や人材を活かし、地域の課題を解決できる仲間づくりを支援します。



個人の健康づくりの推進

① 全世代に共通した健康づくり

- 健康くさつ21に基づく取組を計画的に推進するとともに、まちやしごとの健幸づくりの取組との連携を進めます。
- こころの健康づくりを強化する観点からも、多様化、複雑化する福祉の相談などに対応できる総合的な相談体制を検討します。
- 健康づくりに取り組むきっかけづくりを更に進めます。

② ライフステージに応じた健康づくり

- ライフステージごとの特徴や課題を踏まえた取組を進めます。
- 特に企業や保険者と連携した働く世代に対する取組や、高齢者の就労・社会参加を通じた介護予防の取組を強化します。



《ひとの健幸づくり》重点的な取組のうち今年度行う主な事業①

各まちづくり協議会の健幸宣言実現に向けた取組の推進

各まちづくり協議会と市が協働して、地域の特性を踏まえた健康づくりに取り組む仕組みづくりを進めます。

- 平成29年度から地域保健課を設置し、地域の様々な団体等と連携し、地域の健康づくりの支援等を行う地区担当保健師を配置(1中学校区につき1人)
- 各学区の課題に応じた健康づくりの支援を行うため、健康状態の見える化を行うこととし、被用者保険加入者を含む健康データを学区ごとに分析



■各まちづくり協議会の健幸宣言（平成28年8月28日）

ち

＜健康意識の高揚＞

ちいきのみんなが健康への理解を深め、健康と幸せの輪を広げます！

い

＜生活習慣の改善＞

いつまでも健やかで幸せな生活が送れるよう生活習慣の改善に努めます！

き

＜生活習慣病等の発症予防＞

きっちり健康管理をおこない健康診断の大切さを訴えていきます！

か

＜栄養・食生活＞

カロリー等、バランスのとれた食生活を心がけます！

ら

＜身体活動・運動＞

らくらく体を動かして、地域の運動習慣を広めていきます！

地域活動等ポイントシステム

- 楽しくまちづくりに参加できるきっかけづくりのため、地域活動等ポイントシステムの制度設計を行います。



《ひとの健幸づくり》重点的な取組のうち今年度行う主な事業②

地域包括ケアシステムの推進①

今後の方向性

- 誰もが住み慣れた地域や家庭で自立した生活を送ることができる「地域包括ケアシステム」の構築
- 中間支援組織等と連携した地域福祉計画等に基づく取組の計画的な推進
- 地域の資源等を活かした、地域の課題を解決できる仲間づくりの支援

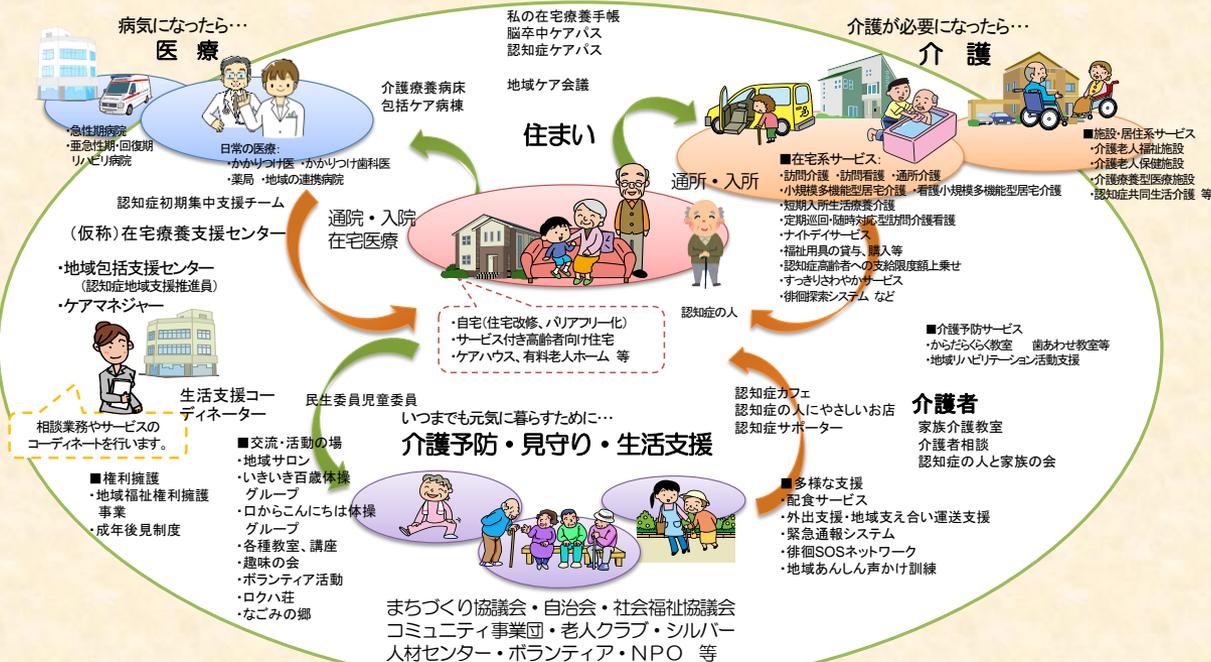
29年度の主な取組

- 地域包括ケアシステムの構築に向け、
- 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）を開始
 - 各小学校区に生活支援コーディネーターを配置し、学区ごとの協議の場の設置を促進
 - 地域福祉の推進（各種計画の見直し等）

地域包括ケアシステムの構築

現在の重点的な取組

- ✓ 医療・介護連携の推進
- ✓ 介護予防・生活支援サービスの充実
- ✓ 認知症施策推進
- ✓ 介護サービスの充実



《ひとの健幸づくり》重点的な取組のうち今年度行う主な事業③

飲食店等と連携した健康づくり

特に働く世代に対し、3010運動と連携し、食事の大切さや野菜の摂取、適正飲酒等を事業者向けコースターや幹事用パンフレット等を作成し啓発します。

- 市民、飲食店や事業所と連携し展開(随時)
- 12月1日号の広報特集にて掲載予定
- 9月頃から飲食店等へ協力依頼予定

佐賀市のロゴマーク



【3010運動】

宴会等での食べ残しを削減するもの。開始後30分間、終了前10分は、離席せず食事を楽しむ運動。

高齢者の社会参加・生涯活躍社会の構築に向けた取組の推進

- 生涯活躍社会の構築に向け、地域活動やボランティアへの参加、就労等、高齢者の様々な生きがいづくりや社会参加の仕組みづくりについて、滋賀県社会福祉協議会が実施する調査研究事業と連携しながら、先進地視察や意識調査等により検討を行います。
- 今年度は、既存の社会参加メニューについての、リーフレットを作成します。



働く世代の健康増進

- 協会けんぽと連携し特定健診や肺がん・結核検診の同時実施、他のがん検診啓発や保健指導を行います。
- 20・25・30・35・40歳の女性に子宮頸がん検診無料クーポン券を、40・45・50・55・60歳の女性に乳がん検診無料クーポン券を、今年度からは、対象の方全員に送付し受診者数の拡大を図ります。(昨年度までは、過去5年以内に受診した方は対象外)
- 健幸都市宣言賛同事業所と共同した健康づくりとして、禁煙したい人の卒煙チャレンジ事業を協会けんぽや労働局等と連携し実施します。



草津市健幸都市基本計画 基本方針

①まちの健幸づくり

②ひとの健幸づくり

③しごとの健幸づくり



しごとの健幸づくり

産学公民が連携し、健康になれるまちづくりを進めます。

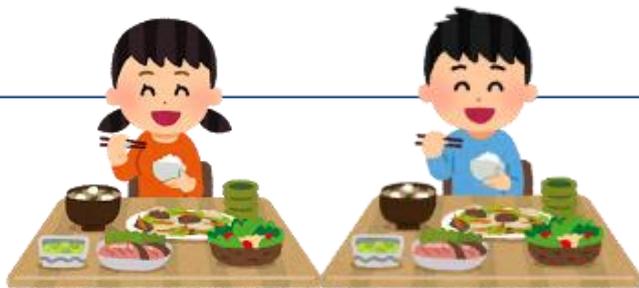
地域産業と連携した健康産業の活性化

① ヘルスツーリズムを含むヘルスケア ビジネスの育成支援

- 市の様々な観光資源や農業環境も活かして、ヘルスツーリズムを含む健康産業の育成支援を検討します。

② 特産物を活かした健康な食等の推進

- 身近な農産物のPRを進め、地域産業の活性化や地産地消、野菜摂取量の増加を促す取組など、健康と産業の連携を進めます。



大学・企業等との連携

① 産学公民連携とその仕組みづくり

- 市内の団体や企業、大学とともに、産学公民連携による健幸都市づくりを進めます。
- 労働者の健康増進やワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。

② 健康に関する情報提供

- 各種媒体を利用して積極的な広報活動を進め、様々な団体・企業等と連携して積極的に情報発信を行います。



《しごとの健幸づくり》重点的な取組のうち今年度行う主な事業①

ヘルスツーリズムの開発

「草津版ヘルスツーリズム」の実施に向けて、以下のとおり、調査・検討を行います。

【平成29年度上半期】

- 地域資源(素材)の掘り起こしやワークショップ等を通じてニーズ調査の実施

【平成29年度下期】

- 実証実験としてのモニターツアーの企画、実施
- 参加者のアンケートによるニーズ調査を実施・集計・分析
- 今年度の実施内容を踏まえ、次年度以降の取組に向けたツアーコースの企画案の作成



アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)の活用

「歩いて暮らせるまちづくり」をテーマに、産学公民連携により、それぞれができることを中心に協調しながら、進めていく仕組みづくりを行います。

- 前期アーバンデザインスクールにおいて、「歩いて暮らせるまち」を考えるため、交通に関する基礎的知識を取得するとともに市民と専門家が交流し、専門家のみなさんも市民の思いを受け止める機会を提供します。
- 未来創造セミナー等により、健幸都市を実現するために必要な広範な知識の取得と産学公民の多様なネットワークの形成を支援します。
- UDCBKを活用した立命館大学との連携により、南草津駅のエスカレーターと並列している階段に、健康づくりの啓発として階段の利用を促すためのメッセージやデザインを階段に設置します。



《しごとの健幸づくり》重点的な取組のうち今年度行う主な事業②

健幸都市くさつの啓発

(仮称)健幸都市くさつシンポジウムの開催

＜開催日＞

9月24日(日)

＜開催場所＞

草津アマカホール

＜概要＞

有識者による講演、企業・団体等による取組事例の発表、市の取組発表等、市民にわかりやすい内容のシンポジウムを企画し、市民の健康に関する意識の向上を図るとともに健幸都市づくりの啓発を行います。

＜企画案＞

○ 有識者による講演

津下 一代 様

(あいち健康の森健康科学総合センター長)

○ 企業・団体等による健幸づくりの取組事例の発表

○ 市の健幸づくりの取組事例の発表



(昨年度の様子)

市職員を対象とした健康づくり



市職員を対象とした健康づくりの推進

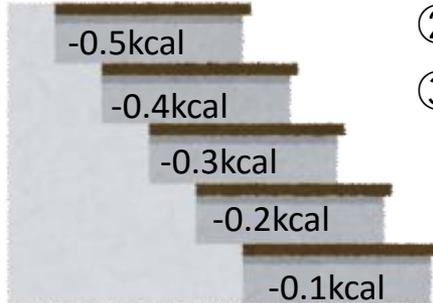
草津市役所の健幸宣言

草津市役所は、健幸都市づくりの推進をめざし、一事業所として、職員が率先して自らの「健幸」に感心を持ち、自ら「健幸」になるため、職員が取り組む次の健幸づくりを推進します。

1. 日ごろからの適度な運動
2. 栄養バランスのとれた食事
3. 心の健康づくり
4. ワーク・ライフ・バランスの推進



- 市民や職員が階段を利用したくなるデザインの設置

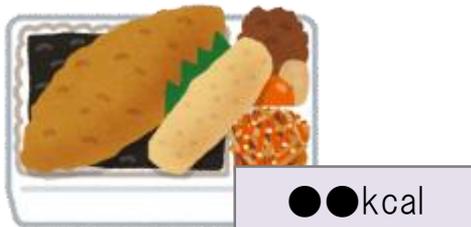


- 適度な運動を支援

- ① 徒歩、自転車利用の推進
- ② 市内の運動施設の紹介
- ③ ウォーキングイベントの実施



- 販売弁当のカロリーを表示



- 心の健康づくり

- ① ストレスチェック
- ② 健康相談

- 働き方改革の推進

- ① 職員研修の実施
- ② 業務効率化アクションの策定・実施

